

1. 2024年度事業報告

(2024年4月1日から2025年3月31日)

【企画運営活動】

1. 第41回社員総会

2024年5月31日、大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1丁目8番4号）において開催した。

代議員総数125名のうち、118名（内20名出席、委任状98名）が出席し、代議員の過半数である定足数を満した。社員総会の成立を確認した後、次の議案を審議し、満場一致で承認決議を行った。

- (1) 2023年度事業報告承認の件
- (2) 2023年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件
- (3) 役員選任の件
- (4) 名誉会員推戴の件
- (5) 定款変更の件
- (6) その他 報告事項1. 2024年度事業計画報告の件、報告事項2. 2024年度収支予算報告の件、報告事項3. 新終身会員報告の件

2. 理事会 (4/24、8/27、12/19、3/24)

本会の意思決定機関として、本会の事業活動を担っている事業企画委員会、会誌委員会、各種委員会、特別委員会等の活動状況の報告をうけ、定款によって定められた審議事項並びに会全体の運営に係わる事項について審議・決定した。

3. 委員会

会長の諮問に答え、また委員会規程に基づき各種の業務執行にあたる。2024年度は下記11の委員会および監査会を開催した。

- (1) 人事・財務委員会 (4回) (4/12、7/23、10/29、3/14)
事務局職員の人事・給与および本会の予算案の編成並びに経理と財務を掌理し、長期的財政の安定を図るために委員会を開催し、本年度の予算の執行、次年度の予算について審議し、理事会に提案した。
- (2) 事業企画委員会 (6回) (4/10、6/17、8/23、10/30、12/18、2/19)
本会の目的達成に必要な事業の企画・運営のための委員会を開催した。
- (3) 会誌委員会 (12回) (4/3、5/8、6/4、7/3、8/6、9/5、10/7、11/6、12/4、1/9、2/5、3/5)
会誌の編集、刊行を掌理するために編集委員会を開催した。
- (4) 技術賞委員会
化学技術賞審査委員会 (1回) (3/11)、技術賞委員会 (2回) (7/24、12/16)
表彰規定に基づき化学・環境技術賞授賞者の選考を行うために、技術賞委員会と審査委員会を開催し、2024年度の授賞者を選定した。
- (5) 総務委員会 (3回) (8/7、11/8、3/3)
総務的事項並びに他の委員会に該当しない事項で、本会の運営上必要かつ重要な事項について審議し、理事会へ提案した。
- (6) 合同事務局運営委員会 (3回) (6/13、9/2、2/10)
一般財団法人大阪科学技術センタービル610号室に同居する化学系の学術5法人の運営に関する事項について委員会を開催し、部屋代、人件費、社会保険料、事務局運営経費等の分担経費を決定した。

(7)研究部門委員会（1回）（11/14）

専門部会の運営、改廃を掌理し、本会の目的のために必要な部会・研究会の設置について審議するため委員会を開催した。

(8)国際交流委員会（2回）（6/12、8/26）

これまでの開催行事の経緯等について収集した情報をもとに今後の委員会と活動のあるべき姿やその具体策を協議し、理事会に提案した。

(9)情報化委員会（1回）（10/10）

本会の効率的・効果的運営に必要な情報化社会システムの活用方法について検討するため委員会を開催した。

(10)役員選考委員会（4回）（4/16、6/10、9/13、12/3）

2025～26年度役員候補者選出のため、会長に指名された委員にて選考委員会を開催した。

(11)監査会（1回）（4/19）

定款第25条に掲げる監事の業務を執行するため、①理事会に出席、②監査会を開催した。

【国際研究集会・国際交流事業】（公益目的事業1）

多くの日本の研究者および化学系企業が進出している海外の下記拠点において大学・研究機関・企業の技術者を対象とした技術交流会（学術講演会・見学会）を開催し、学術研究や異種産業技術間の連携・交流の場を提供する。会員・非会員に関係なく広範に参加を募り、我が国科学技術の振興と社会経済の発展に貢献することを目的とする。

1. 韓国工業化学会との交流

2024年度は情報交換および化学啓発行事である韓国化学工業会の年次大会の内容などを本会の会誌および韓国の連絡拠点を通じて大学および企業に周知して参加を促した。

2. 第1回国際マター情報交換・交流会・2月6日＜大阪科学技術センター/オンライン＞（40名）

「国際！その中でのあれやこれや企画ーぶっちゃけ、企業での苦労と努力、研究・教育に関わる大学での取り組みー」

話題提供：①三菱ケミカル(株)Kyalo Stephen Kanyiva氏、②東レ(株)境野 裕健氏、③TOYO TIRE(株)酒井 秀之氏、④塩野義製薬(株)高橋 知佳氏、⑤奈良先端科学技術大学先端科学技術研究科 教授河合 壯氏、⑥大阪大学 理事・副学長 教授 深瀬 浩一氏

【優れた研究業績の顕彰事業】（公益目的事業2）

化学工業振興の見地より若い研究者および技術者の優れた業績を発掘するとともに、化学技術の発展に向けての更なる貢献を期待し、その業績をたたえ激励することを目的として、2022年度から「化学・環境技術賞」として顕彰を行う。

1. 2023年度第76回化学・環境技術賞授賞者5件・17名を表彰した。

2. 2024年度第77回「化学・環境技術賞」の審査・選定を行った。（3月）

2024年度内における化学に関連する研究・技術で、工業的・社会的・学術的価値が明らかになったもの、および地球環境との共存並びにその維持・改善を積極的に意識し、方向付けがなされた新技術・改良技術で工業的・社会的・学術的価値が明らかになったものについて、本会の定款および表彰規定に基づき、授賞候補者として7件・21名を選定した。

【人材育成のための研修事業および能力開発事業】（公益目的事業3）

1. 研修塾

第46期（塾生25名）

会員企業より選抜された30歳代の技術者、研究者を対象に1年を通じて人格並びに人脈形成を図った。明日の産業界を担う次代の人材育成を主旨に、自らに討議主題を課すと共に自らの頭で考える力を涵養し、また、第一線でご活躍の講師を招いて、その人間性や思想に触れる中でお互いに研鑽

し、資質を磨き、人脈並びに人格形成を図るために本講座 6 回、自主講座 6 回を開催した。

第 1 回・4 月 1 9 日 <大阪科学技術センター>

①塾頭、副塾頭挨拶

②自己紹介

③塾頭講話「研究者の楽しみー素晴らしい仲間との出会い」

大阪大学先導的学際研究機構 特任教授 三浦 雅博氏

④副塾頭講話「私の研究・私の仕事（企業支援） トピックスを振り返って」

元大阪産業技術研究所理事森之宮センター長 大野 敏信氏

⑤副塾頭講話「人間、環境、エネルギー ～自己紹介を兼ねて～」

京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 藤田 健一氏

第 2 回・6 月 7 日 <大阪科学技術センター>

①「技術者倫理を考える」

近畿化学協会化学技術アドバイザー／日本ウレタン工業協会 技術顧問 和田 康一氏

②事例研究とグループディスカッション

第 3 回・8 月 2 日 <大阪科学技術センター>

①「冗長自由度の簡略化の観点からヒトの身体運動を理解する」

京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 神崎 素樹氏

②「MA-Tを用いた革新的な酸化反応活性化制御技術の創出」

大阪大学大学院薬学研究科 教授 井上 豪氏

第 4 回・1 0 月 4 日 <大阪科学技術センター>

①「化学と生きた 4 0 年ーその人生で出会った人達ー」

京都大学名誉教授 大瀧 幸一郎氏

②「GXに貢献する水素科学技術の新展開」

東北大学材料科学高等研究所（WPI-AIMR）所長 折茂 慎一氏

第 5 回・1 2 月 6 日 <大阪科学技術センター>

①「基礎研究を基盤にした社内起業ー私たちが立ち上げた新規事業の例ー」

江崎グリコ(株) 取締役 研究フェロー／グリコ栄養食品(株) 代表取締役社長 栗木 隆氏

②「基礎研究と応用研究の狭間でー成功と挫折ー」

大阪公立大学／広島大学客員教授 高田 十志和氏

第 6 回・2 月 7 日 <大阪科学技術センター>

①「「任せる経営」で社員のモチベーション最大化 木村石鹼自律型組織の作り方とは」

木村石鹼工業(株) 代表取締役社長 木村 祥一郎氏

②「神薬大と共に歩んだ半世紀を振り返って」

神戸薬科大学 理事長 宮田 興子氏

（自主講座）

第 1 回・5 月 1 7 日 <オンライン>

①自己・自社PR

第 2 回・7 月 1 9 日 <産業技術総合研究所中国センター>

①講演「耐震工学について」

（国研）防災科学技術研究所 研究推進室 福井 弘久氏

②見学会：Eーディフェンス

第 3 回・9 月 6 日-7 日 <福井県年縞博物館>

①講演「年縞について」

福井県年縞博物館 福田 英則氏

②見学会：福井県年縞博物館

第4回・11月14日-15日<地球の丸く見える丘展望館ほか>

①見学会：銚子地方气象台、銚子沖洋上風力発電所、ヤマサ醤油(株)

②意見交換会

第5回・1月10日-11日<まみずピア、やまやファクトリー、ヤクルト佐賀工場>

① 見学会：まみずピア、やまやファクトリー、ヤクルト佐賀工場

第6回・3月6日-7日<(株)ISEKI M&D、三浦工業(株)>

①見学会：(株)ISEKI M&D、三浦工業(株)

第40～44期研修塾フォローアップ研修・2月14日・大阪科学技術センター（32名）

①第40～44期塾頭挨拶 大阪公立大学大学院工学研究科 教授 松本 章一氏

②第40～44期副塾頭挨拶 大阪大学産業科学研究所 招へい教授 宮田 幹二氏

③第40～44期・第45～46期副塾頭挨拶

京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 藤田 健一氏

④講演「バイオベンチャーへの投資と実務」

DCIパートナーズ(株) ディレクター 早川 典秀氏

⑤講演「研究あれこれ近化」

京都大学大学院工学研究科 教授 大江 浩一氏

2. 学術セミナー・講習会

本会の目的達成をするために事業企画委員会で化学に関する専門的な学術セミナー・学術講習会・学術講演会・見学会等の開催により、科学技術の普及・振興を図る。

事業企画委員会

第29講「研究開発リーダー実務講座2024」ー企業の将来を担う理想の研究開発リーダー像とは？・7月5日～12月5日（毎月1回開講・全6回）<大阪科学技術センター>

第1回（7月5日）「研究開発リーダーのあり方」（61名）

① 趣旨説明

② 話題提供「弱者の時代の歩き方-開発リーダーの新しいビジネススキル「メタ認知能力」を鍛えよ」

アルプス薬品工業(株) 経営・技術上席顧問/ケルセジェンファーマ ファウンダー 小野 光則氏

③ グループディスカッション、ビジネス交流会

第2回（8月1日）「新規事業への挑戦」（60名）

① 話題提供 「樹脂事業創出の取り組みで経験した目標設定の視点」

(株)カネカ GP生産統括部Green Planetコンパウンド生産グループ グループリーダー
千葉 健氏

② 話題提供「グローバル目線の人脈形成と新規事業への人財活用」

北海道大学名誉教授/(株)ウェストコーナー 代表取締役社長 西田 まゆみ氏

③ グループディスカッション、ビジネス交流会

第3回（9月6日）「知財戦略とイノベーション」

① 話題提供「オープンイノベーションを成功に導く知財戦略」（57名）

東京工業大学研究・産学連携本部イノベーションデザイン機構 副機構長 特任教授
進士 千尋氏

② 話題提供「科学技術イノベーション創出のためのアントレプレナーシップ」

東京大学応用資本市場研究センター センター長・特任教授 忽那 憲治氏

③ グループディスカッション、ビジネス交流会

第4回（10月2日）「事業変革と人材育成」（60名）

① 話題提供「やりきる力がすべてを変えた」

十全化学(株) 取締役社長 廣田 大輔氏

- ② 話題提供「研究開発の生産性を飛躍的に向上させイノベーションを加速する全体最適のマネジメント理論TOC」

Goldratt Japan (株) CEO 岸良 裕司氏

- ③ グループディスカッション、ビジネス交流会

第5回(11月1日)「産学連携と研究開発戦略」(57名)

- ① 話題提供「産学連携によるイノベーションの創出」

神戸大学バリュースクール 教授 坂井 貴行氏

- ② 話題提供「拡張型研究開発リーダーの越境マインドと視座」

(国研) 科学技術振興機構(JST) 研究開発戦略センター

統括ユニットリーダー 研究監 永野 智己氏

- ③ グループディスカッション、ビジネス交流会

第6回(12月5日)「新事業創出に向けて」(60名)

- ① 話題提供「イノベーションプロセスの概要-40年間の企業生活で学んだ事-」

三井化学(株) 社長補佐・新事業開発センター担当/元日東電工(株) 取締役常務執行役員 CTO
表 利彦氏

- ② グループディスカッション、ビジネス交流会

近化サミットCutting Edge・6月14日<大阪科学技術センター>(16名)

「体内精密情報デジタルツインシステム」

Karydo TherapeutiX, Inc. 代表取締役 佐藤 匠徳氏

第3回近化サミット・12月12日<(株)日本触媒 吹田地区研究所>(23名)

開会挨拶

(一社) 近畿化学協会 副会長/(株) 日本触媒 取締役常務執行役員 住田 康隆氏

- ① 「ファインケミカル分野から見た化学業界と事業戦略」

有機合成薬品工業(株) 代表取締役社長 執行役員 松本 清一郎氏

- ② 「大阪大学における α 線核医学治療プロジェクト」

大阪大学 理事 副学長 深瀬 浩一氏

第3回ものづくりプロセス基礎講習シリーズ「表面化学技術者のための実践基礎講習」・11月5日・11日・13日<京都大学福井謙一記念研究センター、大阪科学技術センター/オンライン>(77名)

[11月5日] (テーマ1) 分子の視点から理論的に理解する(39名)

- ① 「分子軌道理論の基礎についての講習」

京都大学福井謙一記念研究センター 研究センター長 佐藤 徹氏

- ② 「表面を分子レベルで理解する考え方」

京都大学福井謙一記念研究センター 研究センター長 佐藤 徹氏

- ③ 「不均一系触媒表面上での化学吸着反応」

京都大学福井謙一記念研究センター 特定助教 大田 航氏

- ④ 京都大学福井謙一記念研究センター見学会

[11月11日] (テーマ2) 金属の表面：電気化学的表面処理を中心として(31名)

- ① 「金属表面処理にむけた電気化学緒論」

京都大学大学院工学研究科 教授 邑瀬 邦明氏

- ② 「電気めっきおよび無電解めっきの基礎と応用」

(地独) 大阪産業技術研究所森之宮センター電子材料研究部 総括研究員 小林 靖之氏
③「金属材料の腐食・防食」

大阪大学大学院工学研究科 教授 土谷 博昭氏
④「陽極酸化による材料表面加工の基礎と応用」

京都大学大学院工学研究科 准教授 深見 一弘氏
⑤「自動車に関わる湿式めっき概要、および装飾めっきのトピック」

日産自動車(株)材料技術部 主担 菅原 宗一郎氏
[11月13日] (テーマ3) 高分子の表面：接着、解析を中心として(36名)

①「接着・剥離のため高分子表面をどう考えるか」
神戸大学大学院工学研究科 教授 西野 孝氏

②「高分子材料の接着・非接着に寄与する表面状態と処理方法」
京都工芸繊維大学 特任教授 松川 公洋氏

③「高分子表面／界面の分析・評価 ―原理と応用―」
旭化成(株)基盤技術研究所 リードエキスパート 菊間 淳氏

④「さまざまな接着剤・粘着剤の基本構成と接着メカニズム」
リンテック(株)研究所イノベーション推進部 上席研究員 杉崎 俊夫氏

⑤「プラズマによる高分子の表面処理と接着性向上」
大阪大学大学院工学研究科 准教授 大久保 雄司氏

世代別同好会「和然会」設立総会・11月19日<リストランテ翔>(60名)

近化電池セミナー「全固体電池開発の現状と展望」・1月15日<大阪科学技術センター>(71名)

①「全固体電池の高性能化に向けた蓄電固体界面科学」
名古屋大学大学院工学研究科 教授 入山 恭寿氏

②「令和5年度特許出願技術動向調査 ―全固体電池―」
特許庁 審査第三部(電池) 審査官 窪田 陸人氏

③「Nissan Ambition 2030 ～日産自動車における全固体電池開発～」
日産自動車(株)パワートレイン・EVバッテリー一次世代技術開発部 諸岡 正浩氏

④「長寿命アルジロナイト型固体電解質を用いた全固体電池の開発」
マクセル(株)新事業統括本部製品開発部 技師 古川 一揮氏

⑤「全固体Naイオン二次電池」
日本電気硝子(株)研究開発本部開発部 グループリーダー 山内 英郎氏

⑥「チップ型半固体セラミックス二次電池EnerCera®の開発と商品化」
日本ガイシ(株)エナジーストレージ事業部 専門部長 鬼頭 賢信氏

近化新春セミナー2025・1月24日<リーガロイヤルホテル大阪>(107名)

「甲子園をつくった男」

武庫川女子大学名誉教授 丸山 健夫氏

第21回キンカ高分子化学研修コース・3月10日<大阪科学技術センター>(20名)

①「高分子の概論と合成～基礎と最先端合成技術」
京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 教授 中 建介氏

②「高分子の製造技術～重合反応装置における攪拌と混合」
住友重機械プロセス機器(株) エンジニアリング部 副部長 竹中 克英氏

③「高分子の構造と物性 ～高分子らしさの起源」

放送大学 客員教授／大阪大学名誉教授 佐藤 尚弘氏

④「プラスチック成形品の不具合 ～原因究明と対策」

大阪公立大学 客員教授 樋口 裕思氏

⑤「研究開発と事業化 ～機能性ポリマーの企業化例を通じて」

(株)日本触媒 R&D統括部 チーフテクノロジーマネージャー 上田 賢一氏

3. 学術講演会

社員総会終了後の特別講演会として、5月31日・大阪科学技術センター・オンラインの併用で開催した。(97名)

「深海インスパイアード化学：物質化学が先導する持続可能な海洋利用」

(国研)海洋研究開発機構 生命理工学センター長(兼)新機能開拓研究グループ リーダー 出口 茂氏

4. ダイバーシティ推進フォーラム

社員総会終了後のフォーラムとして、5月31日・大阪科学技術センター・オンラインの併用で開催した。(97名)

「積水ハウスグループにおける男性育休取得促進の取り組みについて」

積水ハウス(株)ESG経営推進本部ダイバーシティ推進部 スペシャリスト(課長) 木原 淳子氏

5. 見学会(科学技術週間協賛行事)

科学技術の普及啓発活動の一環として、科学技術に関し、ひろく一般国民の関心と理解を深め、もって我が国の科学技術の振興を図ることを目的とする。

科学技術週間協賛行事 「京都工芸繊維大学の見学会-美術工芸展示の見学とデザイン・コンセプトについて-」・4月19日・<京都工芸繊維大学>(17名)

①「美術工芸資料館」および「KYOTO Design Lab」の見学

② 講演「コンセプトメイキングとデザイン」

京都工芸繊維大学デザイン・建築学系科 特任教授

o-lab inc. 代表取締役/コンセプトデザイナー 綾 利洋氏

【化学に関する知識普及および情報の提供事業】(公益目的事業4)

会誌「近畿化学工業界」を月刊誌として、化学工業に関する広巾な知識の普及と情報の提供を行うことおよび情報の交換の場とすることを目的として発行する。記事内容は共通する事項を網羅して、専門以外の幅広い化学分野の最先端の動きを掲載することにより、化学技術の普及と振興を図る。

1. 会誌「近畿化学工業界」(月刊、冊子版/電子版) 第76巻第4号(通巻第852号)～第77巻第3号(通巻863号)

【技術交流事業】(共益事業1)

特定分野に限らない学術講演会・サロン・見学会・交流会の開催により、科学技術の普及、振興を図る。

1. キンカ東京サロン

東京在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学(科学)に関する学術講演と討論を行い会員交流・技術情報の交換を図った。

第167回 4月18日<明専会東京センター/オンライン>(17名)

「工学倫理：キンカ(近畿化学協会)の研究会活動を中心に」

元(株)花王 研究所 / 元北海道大学電子科学研究所 教授 辻井 薫氏

第168回 6月20日<明専会東京センター/オンライン>(12名)

「電気化学をベースとした新しい装置の開発 ～バイオからイオン液体まで～」

東京農工大学大学院 / 工学研究院生命機能科学部門 教授 中村 暢文氏

第169回 9月19日<明専会東京センター/オンライン>(19名)

「低炭素水素の大量導入と社会への貢献可能性」

(一財) エネルギー総合工学研究所 アドバイザリー・フェロー 坂田 興氏

第170回 11月21日<明専会東京センター/オンライン> (9名)

「統合分子構造解析の拠点「FSCREATION」における研究と教育」

東京大学社会連携講座「統合分子構造解析講座」特任教授

分子科学研究所 客員教授 佐藤 宗太氏

第171回 2月13日<明専会東京センター/オンライン> (14名)

「除菌、抗ウィルス、抗カビ性能を有する高感度光触媒の開発と商品化」

九州工業大学大学院工学研究院 教授 横野 照尚氏

2. キンカ京都化学者クラブ

京都在住の会員のお世話による、斯界の第一人者を招いた化学(科学)に関する学術講演と討論を行い会員交流・技術情報の交換を図った。毎月第1土曜日を原則として開催。

第406回・4月6日・京都大学楽友会館 (10名)

「生物の環境適応・多様性獲得に寄与するVector Particle(VP)とは!」

東京農工大学農学府農学研究院生物制御科学部門 産学官連携研究員 千葉 博氏

第407回・5月11日・京都大学楽友会館 (10名)

「極域の海水にすむ生物たちの話-北極と南極の海水下の観測から」

東京大学大気海洋研究所附属国際・地域連携研究センター 教授 原田 尚美氏

第408回・6月1日・京都大学楽友会館 (12名)

「溶存有機物のゆっくりとした分解が水圏生態系で持つ機能を探る」

琵琶湖環境科学研究センター総合解析部門 主任研究員 山口 保彦氏

第409回・7月6日・京都大学楽友会館 (12名)

「太陽マイクロ波エネルギーが水惑星地球の生命細胞エンジン「ミトコンドリア」を育む」

大阪大学名誉教授 柳田 祥三氏

第410回・8月3日・京都大学楽友会館 (12名)

「炭化フッ素と炭化水素の物性の考え方の本質的な違い」

京都大学化学研究所教授 長谷川 健氏

第411回・9月7日・京都大学楽友会館 (10名)

「地球の歴史から学ぶ災害対応-比良山麓」

京都大学名誉教授 中西 正己氏

第412回・10月5日・京都大学楽友会館 (13名)

「漂流の果て」

京都大学名誉教授 左右田 健次氏

第413回・11月9日・京都大学楽友会館 (31名)

「公益財団法人海洋化学研究所 78周年秋季講演会」

第414回・12月7日・京都大学楽友会館 (13名)

「地球温暖化対策としてのCCS(二酸化炭素の回収・貯留)」

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 CO₂貯留研究グループ 三戸 彩絵子氏

第415回・1月11日・京都大学楽友会館 (12名)

「新春賀詞交歓会」

第416回・2月1日・京都大学楽友会館 (11名)

「分析技術の進歩と鉱物科学」

京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻 教授 三宅 亮氏

第417回・3月1日・京都大学楽友会館 (10名)

「足下を覗いて地球を調べる：土・水の有機物分析」

神戸大学大学院農学研究科生命機能科学専攻 教授 藤嶽 暢英氏

3. キンカつくばサロン

筑波在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学（科学）に関する学術講演と討論を行い、会員交流・技術情報の交換を図った。

第24回・3月10日・筑波大学（82名）

「典型元素+ π 」で拓く機能化学

名古屋大学大学院理学研究科 教授 山口 茂弘氏

4. 第75回新年交歓会・1月24日・リーガロイヤルホテル大阪（135名）

化学並びに化学工業界の発展に尽くされた名誉会員をはじめ、大先輩をお招きして、産官学の会員が一堂に会して、化学技術に関する情報交換と交流を行う。

5. 化学技術アドバイザー会（キンカCA）

アドバイザー登録者（近畿化学協会正会員の有志97名）による自主運営とし、近畿化学協会での位置づけ（組織図）は、研究部門委員会（専門部会・目的研究会）の規定を準用する体制のもとで活動を行う。

会員企業および一般企業から依頼により技術相談を行う活動と工学倫理研究会、化学教育研究会、安全研究会、MOT研究会では登録会員間の情報交換・懇談会およびこれまでの経験を生かした社会への貢献、啓発活動を行う。

技術相談日：随時対応

アドバイザー情報交換・懇談会（年3回）

工学倫理研究会：原則毎月1回（第4月曜日）

化学教育研究会：原則毎月1回（第2水曜日）

安全研究会：原則毎月1回（第1月曜日）

MOT研究会：原則毎月1回（第3水曜日）

【技術相談】申込1件

【年次大会】6月6日（20名）

【情報交換・懇談会】9月2日＜懇談会＞（12名）、11月25日＜忘年会＞（21名）、2月12日＜懇談会＞（14名）

（「」内は対面での参加者数）

【工学倫理研究会】＜大阪科学技術センター・対面/オンライン＞

工学倫理の教授法について意見交換を重ねるとともに、大学・学校などへ講師の推薦を行った。

第228回（4/22・32「12」名）、第229回（5/27・31「14」名）、第230回（6/24・31「13」名）、第231回（7/22・27「12」名）、第232回（9/30・29「11」名）、第233回（10/21・28「11」名）、第234回（11/25・29「13」名）、第235回（12/16・25「13」名）、第236回（1/27・33「16」名）、第237回（2/17・27「10」名）、第238回（3/24・26「8」名）

【化学教育研究会】＜大阪科学技術センター・対面/オンライン＞

学生（小学生から大学院まで）を対象として地球環境・産業に関わる化学教育支援および専門化学教育支援を行った。

第229回（4/10・10「3」名）、第230回（5/8・見学会14名）、第231回（6/12・10「3」）、第232回（7/10・14「3」名）、第233回（9/11・15「2」名）、第234回（10/9・12「2」名）、第235回（11/13・9「1」名）、第236回（12/11・13「1」名）、1月休会、第237回

(2/12・13「8」名)、第238回(3/12・14「3」名)

【安全研究会】<大阪科学技術センター・対面/オンライン>

公的機関および企業・大学向けの教育資料作成と安全指導を行った。

第213回(4/1・16「4」名)、第214回(5/7・13「3」名)、第215回(6/3・13「5」名)、第216回(7/1・15「5」名)、第217回(9/2・13「6」名)、第218回(10/7・16「6」名)、第219回(11/11・14「7」名)、第220回(12/2・14「6」名)、第221回(1/6・15「5」名)、第222回(2/3・12「7」名)、第223回(3/3・14「6」名)

【MOT研究会】<大阪科学技術センター・対面/オンライン>

化学産業において実際に役立つ研究開発テーマの発掘と育成をめざした実践的技術経営の検証を行った。

第107回(4/17・23「8」名)、第108回(5/15・20「8」名)、第109回(6/19・22「11」名)、第110回(7/17・見学会16名)、第111回(9/18・18「13」名)、第112回(10/16・19「14」名)、第113回(11/20・18「8」名)、第114回(12/18・15「4」名)、第115回(1/15・25「10」名)、第116回(2/19・10「4」名)、第117回(3/19・14「5」名)

【専門部会事業】(共益事業2)

化学の専門分野に応じた9の各専門部会を設置し、各専門部会が部会の目的に沿って部会員の活動の場となり、部会員が協力して科学技術の振興を図る。部会員相互の学術的および技術的知識の増進を図ることを目的として、例会(学術講演会)、基礎講習会、学術講習会、学術セミナー、討論会、シンポジウム、フォーラム、公開講演会、懇話会等を行う。

第1部会(有機金属部会)

有機金属化学における基礎研究並びにスペシャリティケミカルズの開発に関する研究会として例会(学術講演会)・学術セミナー・討論会等の実施および知識普及事業として部会機関誌Organometallic Newsを刊行した。

第1回例会・4月22日<大阪科学技術センター・オンライン>(35名)

①「協働金属触媒による有機合成反応」

京都大学大学院工学研究科 教授 中尾 佳亮氏

②「“典型元素+ π ”で生み出される分子の魅力と可能性」

名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 教授 山口 茂弘氏

③「ダブルキレート骨格を有するケイ素-モリブデン錯体の合成と触媒反応への応用」

元横浜国立大学大学院工学府 准教授 湊 盟氏

第50回有機金属化学セミナー・6月11日<オンライン・オンデマンド配信>(227名)

①「遷移金属錯体触媒反応を理解するための基礎知識」

京都大学化学研究所附属元素科学国際研究センター 大木 靖弘氏

②「クロスカップリング反応」

京都工芸繊維大学分子化学系 大村 智通氏

③「C-H官能基化」

大阪大学大学院工学研究科 教授 平野 康次氏

④「可視光レドックス触媒反応の基礎から応用」

日本工業大学基幹工学部応用化学科 准教授 小池 隆司氏

⑤「遷移金属触媒反応を活用する機能性有機材料の合成」

兵庫県立大学大学院理学研究科 教授 三宅 由寛氏

⑥「オレフィンメタセシス反応」(オンデマンド配信のみ)

大阪公立大学大学院理学研究科 教授 神川 憲氏

第2回例会・6月24日<東京理科大学森戸記念館・オンライン> (65名)

①「キラルスズ触媒を用いる不斉反応の最近の進歩」

千葉大学 名誉教授・千葉大学 グランドフェロー 柳澤 章氏

②「基礎化学者が行う最先端材料開発」

公益財団法人特殊無機材料研究所 代表理事 久新 莊一郎氏

③「気相イオン反応の理論を求めて」

大阪大学大学院工学研究科 特任准教授 竹内 孝江氏

④「複雑化学系の応用量子化学研究」

京都大学福井謙一記念研究センター 吉澤 一成氏

第70回有機金属化学討論会・9月9～11日<大阪公立大学中百舌鳥キャンパス> (404名)

・発表件数187件 (口頭42件、ポスター145件)

第3回例会・11月22日<北海道大学薬学部・オンライン> (118名)

①「光反応の制御を志向した有機分子触媒の開発」

北海道大学触媒科学研究所 教授 浦口 大輔氏

②「遷移金属触媒を用いる含フッ素化合物の合成」

名古屋大学大学院創薬科学研究科 教授 山本 芳彦氏

③「ハーバー・ボッシュ法を超えるアンモニア合成法への挑戦」

東京大学大学院工学系研究科 教授 西林 仁昭氏

④「二種類の配位子をもつルテニウム錯体触媒を用いた不斉水素化反応」

北海道大学大学院工学研究院 教授・フロンティア化学教育研究センター センター長
大熊 毅氏

第4回例会・1月27日<関西学院大阪梅田キャンパス> (66名)

①「半金属反応剤を活用した未踏有機合成反応の開発」

大阪大学大学院基礎工学研究科 教授 鷹谷 絢氏

②「ラジカルソートを経由する遷移金属触媒反応」

京都大学大学院工学研究科 教授 石田 直樹氏

③「典型元素の特徴を活かした機能性開殻性化合物の合成と性質」

兵庫県立大学大学院理学研究科 教授 吾郷 友宏氏

④「中員環化合物合成戦略の新展開」

群馬大学大学院理工学府理工学基盤部門 教授 村岡 貴子氏

部会機関誌Organometallic News 2024 No. 2, 3, 2025 No. 1 (Web版), 2024冊子体刊行

第2部会 (合成部会)

有機合成化学の基礎研究並びに医薬、農薬、エネルギー開発生体模倣材料の合成化学的開発に関する研究会として合成フォーラム等を実施した。

部会内に設置されたマイクロ合成研究会では、自動合成やマイクロリアクターを使った合成に関する研究会として研究会 (学術講演会)、公開講演会&展示会等を実施した。

第1回合成フォーラム・7月25日<ダイキン工業(株) テクノロジー・イノベーションセンター> (21名)

①「光ペルフルオロアルキル化の開発とその展開」

お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系 教授 矢島 知子氏

②「ダイキン工業の産学連携の取り組み」

ダイキン工業(株)テクノロジー・イノベーションセンター戦略室 専任部長／
大阪大学工学研究科ダイキン協働研究所 所長・特任教授 大西 正氏

③「電子線処理を用いた耐油紙の開発」

ダイキン工業(株)副参事／大阪大学工学研究科ダイキン協働研究所招へい教授 佐藤 数行氏

④見学会：同社テクノロジー・イノベーションセンター

第2回合成フォーラム・1月31日＜大阪科学技術センター・オンライン＞（35名）

①「人工翻訳＋翻訳後修飾で擬天然ペプチドをつくる」

京都大学大学院理学研究科化学専攻 教授 後藤 佑樹氏

②「COVID-19経口治療薬ensitrelvirの創製」

塩野義製薬(株)創薬研究本部創薬化学研究所 宇納 佑斗氏

③「核酸標的低分子創薬を加速する低分子の創成と基盤構築」

大阪大学産業科学研究所 教授 中谷 和彦氏

[フロー・マイクロ合成研究会]

第103回研究会・4月26日＜大阪科学技術センター・オンライン＞（97名）

①「フロー合成法を利用した生薬の分析法の開発と品質管理への適用」

北里大学薬学部生薬学教室 准教授 白畑 辰弥氏

②「医薬品原料開発における連続的製造プロセスおよび酵素触媒による製造プロセスの開発：
チャレンジと運用事例」

Asymchem Laboratories (Tianjin) Co., Ltd.

Senior Vice President of Project Process R&D 肖 毅 (Yi Hsiao)氏

③「医薬品原薬製造におけるフロー技術への期待と当社での事例紹介」

住友ファーマ(株)プロセス研究所 プロセス研究第2グループグループマネージャー 橋本 和樹氏

GRAMS Meeting Australia・5月23～24日・メルボルン大学（56名）

第38回公開講演会—講演&展示—・7月30日＜大阪科学技術センター・オンライン＞（164名）

①2社による共同研究発表

-1「協和キリンにおける連続フロー合成への取り組み」

協和キリン(株)生産本部CMC研究センター原薬グループ 藤原 克昭氏

-2「GMP出発原料BFTUの連続フロー合成検討」

(株)カネカ Pharma & Supplemental Nutrition Solutions Vehicle Pharma 部

API研究チーム 幹部職 安河内 宏昭氏

②「T字・V字ミキサーの全て：フロー装置での活用法と基礎理論概要」

九州大学大学院工学研究院 准教授 浅野 周作氏

③ 出展企業プレゼンテーション

④「連続フロープロセスによるものづくり」

(国研)産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 研究グループ長 石坂 孝之氏

⑤「The Opportunities to Apply Continuous Flow Process as New Technology
in the Pharmaceutical Companies.」

Zhejiang Jiuzhou Pharmaceutical Co.,Ltd Yuanqiang Li氏

⑥「Accelerated development of synthetic photo/electrochemistry
with flow chemistry and automation」

Zhejiang University, College of Chemical and Biological Engineering,

Assistant Professor Yiming Mo氏

=展示会=

マックエンジニアリング(株)、(株)ワイエムシィ、(株)DFC、(株)タクミナ、(株)陽和、ブロンコ
スト・ジャパン(株)、メトラー・トレド(株)、(株)ナード研究所、川研ファインケミカル(株)、

(株)朝日ラボ交易、(株)日本サイエンスコア

第105回研究会・11月15日<大阪科学技術センター・オンライン> (92名)

- ①「マイクロリアクターを用いた多孔性錯体微粒子の合成と集積：マクロ・ミクロ階層型多孔体の創製に向けて」

京都大学大学院工学研究科化学工学専攻 准教授 渡邊 哲氏

- ②「ガラス製ナノ流体デバイスを用いたナノ流体化学反応」

台湾国立清華大学 助教授 森川 響二郎氏

- ③「ロボットを用いるフロー反応の全自動化検討」

岐阜薬科大学創薬化学大講座合成薬品製造学研究室 教授 伊藤 彰近氏

KFLEX-GRAMS・11月20～23日<Seoul KOFST HQ/Busan Grand Josun Hotel>

第106回研究会・1月10～11日<瑠璃光(加賀市)> (46名)

- ①「立山化成(株)におけるフロー水添反応の取り組み」

立山化成(株)研究所 主任 山藤 大紀氏

- ②「連続生産技術を用いた医薬品の製造プロセス開発～連続生産による付加価値の創出を目指して～」

十全化学(株) 小林 勇太氏、木室 佑亮氏

- ③「暗黙知から形式知へ：有機合成のデジタル化を考える」

分子科学研究所/総合研究大学院大学 准教授 榎山 儀恵氏

- ④「GRAMS meeting Australia報告」

武田薬品工業(株) 齋藤 英樹氏

- ⑤「フロー・マイクロ合成研究会に関する自由討論」

第3部会(触媒・表面部会)

触媒化学の基礎研究並びにファインケミカルズ開発の触媒設計等に関する研究会としてキャタリストクラブ例会(学術講演会)、学術セミナー、学術講習会、国際シンポジウム等を実施した。

第1回キャタリストクラブ例会・5月14日<大阪大学中之島センター> (17名)

- ①「多孔性金属錯体(MOF)材料を基盤とした可視光応答型光触媒の開発」

大阪公立大学大学院工学研究科 物質化学生命系専攻 准教授 堀内 悠氏

- ②「多元素合金を基盤とした高機能性触媒材料の開発」

大阪大学大学院工学研究科 応用化学専攻 教授 古川 森也氏

入門触媒科学セミナー・10月8～9日<大阪科学技術センター> (45名)

- ①開会挨拶

大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授 満留 敬人氏

- ②「触媒科学の基本概念－これだけは知っておこう－」

関西大学環境都市工学部エネルギー環境・化学工学科 教授 池永 直樹氏

- ③「遷移金属錯体触媒－錯体の基礎と有機合成触媒反応－」

大阪公立大学大学院理学研究科 准教授 亀尾 肇氏

- ④「固体表面の酸・塩基点とその触媒機能」

大阪公立大学大学院工学研究科 准教授 田村 正純氏

- ⑤「金属酸化物触媒－触媒機能の宝庫－」

京都工芸繊維大学材料化学系 教授 細川 三郎氏

- ⑥「金属ナノ粒子触媒－構造と触媒作用および設計法－」

大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授 満留 敬人氏

- ⑦「触媒調製化学ー基礎から最近のナノ構造触媒までー」
大阪大学大学院工学研究科 准教授 桑原 泰隆氏
- ⑧閉会挨拶
大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授 満留 敬人氏
- ナノ材料の総合分析講習・11月7～8日＜大阪工業大学大宮校地＞（53名）
- 開会挨拶
大阪工業大学工学部応用化学科 教授 東本 慎也氏
- ①「表面分析概論」
大阪工業大学工学部応用化学科 教授 東本 慎也氏
- ②「組成分析（AAS, ICP-AES, XRF）」
関西大学環境都市工学部エネルギー環境・化学工学科 准教授 福 康二郎氏
- ③「光電子分光法（XPS, UPS）」
京都大学大学院工学研究科 助教 富田 修氏
- ④「X線回折（XRD）」
京都大学大学院工学研究科 講師 中田 明伸氏
- ⑤「電子スピン共鳴（ESR）」
大阪公立大学大学院工学研究科 教授 松岡 雅也氏
- ⑥「顕微鏡（TEM・SEM・STM・AFM）」
近畿大学理工学部 講師 田中 淳皓氏
- ⑦「昇温法（TG・DTA・TPD, TPR）」
大阪大学大学院工学研究科 准教授 森 浩亮氏
- ⑧「X線吸収微細構造（XAFS）」
近畿大学理工学部応用化学科 講師 朝倉 博行氏
- ⑨「紫外可視・光ルミネセンス（UV-vis, PL）」
京都大学大学院工学研究科 助教 浪花 晋平氏
- ⑩「核磁気共鳴（NMR）」
大阪大学大学院基礎工学研究科 助教 山口 渉氏
- ⑪「赤外・ラマンスペクトル（FT-IR, Raman）」
大阪公立大学大学院工学研究科 准教授 竹内 雅人氏
- ⑫「質量分析・クロマトグラフ（MS・GC・LC）」
京都大学大学院工学研究科 特定准教授 井口 翔之氏
- ⑬「吸着法」
近畿大学理工学部応用化学科 准教授 室山 広樹氏
- ⑭「電気化学測定」
京都大学成長戦略本部 水素エネルギーマテリアル・次世代電池研究開発ユニット
特定准教授 東 正信氏
- ⑮「総論・ケーススタディー」
京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 吉田 寿雄氏
- 閉会挨拶
大阪工業大学工学部応用化学科 教授 東本 慎也氏
- 国際シンポジウム（Osaka-Kansai International Symposium on Catalysis (OKCAT2024)）
・11月20～21日＜大阪公立大学杉本キャンパス＞（53名）
- Plenary Lecture 3件、Invited Lecture 3件、Keynote Lecture 2件、Poster Presentation 19件
- ①<Plenary Lecture>「Plasmonic Yolk@Shell nanocrystals for hydrogen production」
Prof. Yung-Jung Hsu (National Yang Ming Chiao Tung University)
- ②<Invited Lecture>「Design of layered oxyhalide photocatalysts for visible light induced water splitting」

Dr. Hajime Suzuki (Kyoto University)

- ③<Invited Lecture> 「Semiconductor facet effects towards photocatalytic organic transformations」

Prof. Michael Hsuan-Yi Huang (National Tsing Hua University)

- ④Short Talk for Poster Presentation

- ⑤Poster Session

- ⑥<Keynote Lecture> 「Selective transformation of carboxylic acid and its derivatives as renewable resources using the heterogeneous metal catalysts」

Prof. Tomoo Mizugaki (Osaka University)

- ⑦<Plenary Lecture> 「Controlling the interaction of platinum group metals and CeO₂ support to promote the reactivity」

Prof. Do Heui Kim (Seoul National University)

- ⑧<Keynote Lecture> “From plastic to valuable MOF materials: Catalytic PET-to-BHET-to-MOF conversion over efficient solid catalysts” Prof. Kevin C.-W. Wu (National Taiwan University)

- ⑨<Invited Lecture> 「Synchrotron Characterization for Studying Electrochemical Interfaces」

Dr. Yan-Gu Lin (National Synchrotron Radiation Research Center)

- ⑩<Plenary Lecture> 「Development of heterogeneous photocatalytic organic reactions」

Prof. Hisao Yoshida (Kyoto University)

第2回キャタリストクラブ例会・1月21日<大阪大学中之島センター> (35名)

- ①「ナノ構造触媒・反応場の設計と応用」

大阪大学大学院工学研究科マテリアル生産科学専攻 教授 山下 弘巳氏

- ②「低温木材ガス化触媒を目指した最近の研究について」

長崎大学総合生産科学域 (工学) 物質科学部門 教授 田邊 秀二氏

第4部会 (ヘテロ原子部会)

無機化学、有機化学、高分子化学、触媒化学、ならびに生体関連化学などの発展に資するヘテロ原子化学の基礎研究並びに応用開発に関する研究会として懇話会 (学術講演・見学会) 等を実施した。

第1回懇話会・6月13日<オンライン開催> (35名)

- ①「有機分子触媒による光反応の制御」

北海道大学触媒科学研究所 教授 浦口 大輔氏

- ②「生体親和性有機ヘテロ元素化合物のロジウム触媒合成と生物活性」

九州大学大学院農学研究院 教授 有澤 美枝子氏

- ③「ドメイン知識活用！ルールベースで創る仮想高分子ライブラリ」

(株)ダイセル 事業創出本部事業創出センター フェロー 大野 充氏

第2回懇話会・11月22日<(株)カネカ 高砂工業所> (22名)

- ①「株式会社カネカ会社紹介・Green Planetの事業紹介」

(株)カネカ 高砂工業所GP生産統括部長 川勝 厚志氏

- ② 株式会社カネカ高砂工業所 工場見学

- ③「生分解性バイオポリマーGreen Planetの開発」

(株)カネカ CO₂ Innovation Laboratory 所長 佐藤 俊輔氏

- ④「意外と奥が深い？第4級アンモニウムの化学」

神戸学院大学薬学部 教授 国嶋 崇隆氏

第3回懇話会・3月13日<大阪科学技術センター・オンライン> (29名)

- ①「奇数員環を含む共役炭化水素の合成と性質：未踏のアズレノイドを目指して」

大阪大学大学院工学研究科 助教 小西 彬仁氏

- ②「生体分子化学への適用を指向したオレフィンメタセシス触媒の機能化」

奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 准教授 松尾 貴史氏

- ③「遷移金属触媒を活用する有機ケイ素合成の新展開」

京都大学大学院工学研究科 教授 杉野目 道紀氏

第5部会（バイオ部会）

バイオテクノロジーの基礎研究並びに工業生産技術開発に関する研究会として、従来、企業や研究機関の見学と講演という内容で例会（学術講演会）等を実施した。

第1回例会・12月10日<月桂冠(株)昭和蔵（製造本部）・大倉記念館>（15名）

- ①「遺伝子から実用化まで全部みる酵母育種」

月桂冠(株)総合研究所 副主任研究員 根来 宏明氏

- ②「水産分野におけるゲノム編集育種の貢献と可能性」

京都大学大学院農学研究科 准教授 木下 政人氏

- ③見学：月桂冠(株)大倉記念館

第6部会（機能性色素部会）

機能性色素材料の基礎研究並びにデザイン、合成、物性等に関する研究会として例会（学術講演会）、公開講演会を実施した。

第112回例会「環境に配慮した色素材料」・5月28日<大阪科学技術センター・オンライン>（39名）

- ①「水系分散技術を応用した環境にやさしい有機ELインクの開発」

明成化学工業（株）機能化学品開発部新素材開発G グループマネージャー 岡村 奈生己氏

- ②「日本酒を科学することで見出した 麹菌チロシナーゼを用いるメラニン前駆体による新規
染毛料の開発」

月桂冠（株）総合研究所 所長 石田 博樹氏

- ③「メカノケミカル法による不溶性化合物からの機能色素合成」

北海道大学大学院工学研究院 卓越教授 伊藤 肇氏

第113回例会「エネルギーを生み出す有機機能材料」・10月11日<大阪科学技術センター・オンライン>（50名）

- ①「未利用熱を電気に変換する有機系半導体の開発」

大阪工業大学工学部 准教授 村田 理尚氏

- ②「エネコートテクノロジーズが開発するペロブスカイト太陽電池の紹介」

（株）エネコートテクノロジーズ 取締役・最高技術責任者 堀内 保氏

- ③「全樹脂電池の開発について」

APB（株）取締役COO 兼 CTO 進藤 康裕氏

- ④「農業用ハウスへの搭載を指向した波長選択型有機太陽電池の開発」

大阪大学産業科学研究所 教授 家 裕隆氏

合同公開講演会「光学異方性材料の創出と応用技術」・2月13日<大阪科学技術センター・オンライン> [エレクトロニクス部会共催]（47名）

- ①「バルク光配向材料とその高複屈折率化、ならびにデバイスへの応用」

兵庫県立大学大学院工学研究科 教授 川月 喜弘氏

- ②「近赤外吸収シアニン色素の開発と塗布型偏光板への応用」

富士フイルム（株）有機合成化学研究所 平井 友樹氏

③「PVA-ヨウ素系偏光板を用いた円偏光板の設計技術」

日東電工(株)情報機能材料事業部門R&D統括本部第1開発部 グループ長 森 拓也氏

④「液晶を用いた異方性共役ポリマーの合成と性質」

立命館大学総合科学技術研究機構 教授 赤木 和夫氏

第7部会 (エレクトロニクス部会)

電子材料の新素材研究と学際領域の技術開発に関する研究会として例会(学術講演会)、研修セミナー、公開講演会等および、部会機関誌 Electronics Communicationsを刊行した。

第1回研究会「水素社会の実現に向けた最近の動向」・6月18日<大阪科学技術センター・オンライン>(22名)

①「岩谷産業における水素を中心とした低・脱炭素技術への取り組み」

岩谷産業(株)常務執行役員 中央研究所長(兼)岩谷水素技術研究所長 小池 国彦氏

②「水素の利活用に貢献する新材料の開発」

筑波大学数理物質系 物質工学域 教授 近藤 剛弘氏

③「固体高分子形燃料電池(PEFC)用カソード触媒層の性能・耐久性向上へのカーボン担体構造とPt、アイオノマー分布の影響」

山梨大学水素・燃料電池ナノ材料研究センター 教授 内田 誠氏

第2回研究会「ペロブスカイト太陽電池の最新動向」・11月15日<大阪科学技術センター・オンライン>(62名)

①「高効率ペロブスカイト太陽電池の最新技術と産業実装の動向」

桐蔭横浜大学医用工学部 教授 宮坂 力氏

②「ペロブスカイト太陽電池の実用化動向と結晶成長」

(国研)産業技術総合研究所 ゼロエミッション国際共同研究センター 主任研究員 宮寺 哲彦氏

③「ペロブスカイト太陽電池およびペロブスカイト/シリコンタンデム太陽電池の開発」

東芝エネルギーシステムズ(株) 五反田 武志氏

第3回研究会「メタサーフェスが拓く新しい光波制御技術」・1月17日<大阪科学技術センター・オンライン>

①「誘電体メタサーフェスの現状と展望」

大阪大学大学院工学研究科物理学専攻 教授 高原 淳一氏

②「次世代テラヘルツ通信に向けたメタサーフェス反射板とその高精度評価技術の研究開発」

(国研)産業技術総合研究所物理計測標準研究部門電磁気計測グループ 主任研究員 加藤 悠人氏

③「メタオプティクスが拓く高感度・多色イメージセンシング」

日本電信電話(株)先端集積デバイス研究所 宮田 将司氏

合同公開講演会[機能性色素部会共催]・2月13日<大阪科学技術センター・オンライン>[前出]
部会機関誌 Electronics Communications No. 40 電子版刊行

第8部会 (コンピュータ化学部会)

物質のデザイン、生産工程のコントロール、人工知能開発研究に関する研究会として例会(学術講演会)、公開講演会、公開セミナー等を実施した。

公開講演会(第119回例会)「計算化学による生体分子研究の最前線」・6月21日<大阪科学技術センター・オンライン>(26名)

①「生体分子に向けた分子シミュレーション法の開発とその応用研究」

大阪公立大学大学院理学研究科生物化学専攻 教授 森次 圭氏

②「量子分子動力学法による生体分子反応の機構解明」

量子生命科学研究所 量子生命システムグループ 主任研究員 小野 純一氏

③「フラグメント分子軌道法を活用した構造生命科学研究」

大阪大学大学院薬学研究科 教授 福澤 薫氏

公開講演会（第120回例会）「グリーントランスフォーメーションを先導する計算・情報化学」・10月30日＜ダイキン工業(株)テクノロジー・イノベーションセンター/オンライン＞（56名）

①「多孔質炭素繊維を支持体とした革新CO₂分離膜」

東レ(株)先端材料研究所 主任研究員 三原 崇明氏

②「理論計算とAIによる触媒反応の理解と設計に向けたアプローチ」

北海道大学触媒科学研究所 助教 宮崎 玲氏

③「人工光合成による水素生成：ペロブスカイト半導体光触媒の第一原理解析」

神戸大学大学院システム情報学研究科 特命講師 西口 和孝氏

④見学会 於：同社テクノロジー・イノベーションセンター

公開講演会（第121回例会）「材料開発に使える機械学習ポテンシャルの構築とその応用」・2月4日＜大阪科学技術センター・オンライン＞（28名）

①「機械学習ポテンシャルの構築と応用」

京都大学大学院工学研究科 准教授 世古 敦人氏

②「大規模原子モデリングに向けた機械学習ポテンシャルの構築とその応用」

産業技術短期大学機械工学科 准教授 森 英喜氏

③「パーシステントホモロジーの機械学習ポテンシャル構築への応用」

大阪大学産業科学研究所 教授 南谷 英美氏

第9部会（重合工学部会）

重合体製造プロセスに関する研究会として例会（学術講演会）、学術講習会等を実施した。

第1回例会・6月14日＜大阪科学技術センター＞（22名）

①「懸濁重合について」

住友重機械プロセス機器(株)プロセス設計グループ 主任技師 宮田 康行氏

②「樹脂用機能性添加剤について」

三菱ケミカル(株)添加剤グループ チームリーダー 西井 博幸氏

重合プロセスの基礎講習会・10月10～11日＜連合会館＞（15名）

①「ポリマー製造プロセスの構成と単位操作」

浅野生産革新・攪拌研究所 主宰 浅野 健治氏

②「高分子合成の基礎」

神戸大学大学院工学研究科 教授 南 秀人氏

③「微粒子生成の重合反応」

福井大学大学院工学研究科 准教授 鈴木 清氏

④「高粘性場での重合動力学と不均一系重合反応」

大阪公立大学大学院工学研究科 教授 安田 昌弘氏

⑤「重合反応装置の基本設計と事例紹介」

住友重機械プロセス機器(株)技術部攪拌技術グループ グループリーダー 竹中 克英氏

⑥「重合プロセスの操作設計」

神戸大学大学院工学研究科 教授 大村 直人氏

⑦「PVCものづくりの現状と将来—プロセスから製品化—」

元(株)カネカ 一色 実氏

第2回例会・11月22日＜福井大学＞（12名）

①「ネットワーク高分子の生成過程：分子量・構造依存性を含んだモデルを目指して」

福井大学学術研究院工学系部門 教授 飛田 英孝氏

②「精密重合誘起自己組織化」

福井大学学術研究院工学系部門 教授 杉原 伸治氏

重合工学レクチャーシリーズNo. 11・1月31日<大阪科学技術センター・オンライン>
(24名)

①「ラテックスの重合と樹脂回収」

(株)カネカ Material Solutions New Research Engine 神田 季彦氏

②「塗料の基本と進化：原材料の変遷とその課題」

日本ペイント・インダストリアルコーティングス(株) 信岡 宏明氏

③「塗布操作のCFD解析」

埼玉大学 研究機構オープンイノベーションセンター 教授 本間 俊司氏

④「ラテックス分散液塗布膜の乾燥過程解析」

リンテック(株) 田中 宏明氏

【学協会との連携および合同事務局の運営事業】（共益事業4）

1. 学協会との連携および合同事務局運営事業

一般社団法人近畿化学協会・公益社団法人日本化学会近畿支部・公益社団法人化学工学会関西支部・公益社団法人日本分析化学会近畿支部・公益社団法人有機合成化学協会関西支部の5法人で「合同事務局運営委員会」を組織して合同事務局の運営を行った。

2. 関連学協会協賛行事

化学分野の学術団体が主催する学術セミナー・学術講演会などの行事に協賛し、内容を会誌などで会員に周知した。会員が行事に参加する場合は各主催者で定めた割引費用で参加できる。

2024年度事業報告の付属明細書

2024年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上